

ボランティアセンター kazo-syakyō センター 通信

2026 冬号



写真：2025年12月6日（土）
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

お知らせ



令和8年ボランティア保険の申請がはじまりました

ボランティア活動保険とは、「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」が対象の保険です。

ボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故により死傷された場合や、他人にケガを負わせたり、他人の物を壊したと等により、法律上の損害賠償責任を負う場合に保険金が支払われるといった補償になります。

- ・基本プラン（1名当たり350円）
 - ・天災地震補償プラン（500円）
- 2種類からお選びいただけます。

令和8年度ボランティア活動保険の受付は、令和8年2月3日（月）から開始しています。

補償期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日まで
申し込み先：加須市社会福祉協議会 本所・各支所

こころの健康講座を開催します

からだ健康のためには、こころが元気であることも必要です。今年度も動画配信のため、好きな時間に講座を受けられます。詳細は加須市社協ホームページをご確認ください。

内容：「心を健康に保つために」
「ストレスとの上手な付き合い方」
講師：阿部真里子臨床心理オフィス
公認心理師・産業カウンセラー
阿部 雄貴 氏

配信期間：令和8年3月2日（月）から3月27日（金）まで

申込方法：左記Googleフォームを入力、または電話
申込締切：令和8年3月19日（木）



令和7年度
こころの健康講座
心を健康に保つために
～ストレスの上手な付き合い方～

講師：阿部真里子臨床心理オフィス
公認心理師・産業カウンセラー 阿部雄貴氏

視聴期間：3月2日（月）～3月27日（金）
※受講料無料（通信費は自己負担）

web講座のため期間中お好きな時間に受講できます！

申込期間：2月21日（月）～3月19日（木）まで
申込方法：QRコードからGoogleフォームでお申し込み
・加須市社会福祉協議会へお電話
【お問い合わせ】
加須市社会福祉協議会 本所 ボランティアセンター 0480-62-6451

加須市社会福祉協議会の登録ボランティアを紹介します

【点訳ボランティアおとね】
11月6日（木）から全3回で実施された点訳ボランティア養成講座が12月4日（木）をもちまして、終了しました。「点訳会おとね」の皆さんに講師をしていただき、12名の受講生をお迎えしました。

受講生の中には、今後「点訳会おとね」に加入し活動していきたいと考えてくださる方もおり、1月28日（水）に行われた点訳会おとねの活動に4名の方が参加していただきました。今年度中はまだ仮加入だとは思いますが、来年度からは「点訳会おとね」の正規メンバーとしてお会いできることを楽しみにしています！



加須市社会福祉協議会では
新たな登録ボランティアを
随時募集しています！

お問い合わせ

加須市社会福祉協議会 本所 ボランティアセンター
〒347-0033 埼玉県加須市下高柳 1932-1
TEL 0480-62-6451 FAX 0480-62-6546

↓加須社協 HP はこちら↓



ボランティアに関するご相談・ご質問などございましたら お気軽にお問い合わせください！

今回の特集は…

- ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の活動報告
- ・ボランティア養成講座実施報告



傾聴ボランティア養成講座に ご参加いただきありがとうございました♪



1月22日(木)から全2回で傾聴ボランティア養成講座を実施しました。講師は埼玉カウンセリングセンター代表理事の高倉恵子先生をお招きしました。

16名の受講生とともに、第1回目は座学を中心に、傾聴について学びました。高倉先生が東日本大震災の時に、ボランティア活動を行った様子もお話いただき、実体験を交えての講座をしていただきました。

第2回目はロールプレイングを中心に実践編として実施しました。受講生同士で2人1組になり、まずはお互いがどの位置で話すと話しやすいか椅子の位置を

決めるところからスタートしました。みなさん最初は緊張していましたが、講座が終わるころには、笑顔でお話しされていました。

講座終了後に、加須市社協に登録されている傾聴ボランティアの2団体から活動についてお話しいただきました。講座終了後当日にボランティア加入をしていただいた方もおり、今後の活躍を楽しみにしています！ 講師をしていただいた高倉先生、受講生のみなさまありがとうございました。

新たな登録ボランティア団体をご紹介します！



清水バンド

【清水バンド】

ピアノ・サクソ・ベース・ドラムの4人編成です。福祉施設やイベント等で、昭和歌謡やJAZZを中心に演奏活動をしています！

ご依頼の際は2か月ほど前にご連絡ください。

(代表：清水)

義援金・救済金についてのお知らせ

令和8年2月1日現在、日本赤十字社埼玉県支部加須市地区（加須市社協）では

- ・令和6年能登半島地震災害義援金 ・令和6年9月能登半島大雨災害義援金
- ・令和7年8月6日から大雨災害義援金
- ・令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金 ・中東人道危機救援金
- ・ Bangladesh 南部避難民救援金 ・ウクライナ人道危機救援金
- ・無指定海外救援金

上記義援金・救済金を、社協窓口・募金箱・街頭募金で受け付けています。ご協力よろしくお祈いします。



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を 実施しました

令和7年12月6日(土)に加須市社会福祉協議会の「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を実施しました。

加須市社協職員や、ボランティアの参加者、市職員など合計76名で水害を想定した訓練を行いました。

今回の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練では「防災士と災害ボランティアセンターの関わりについて」として、防災士の大澤サユリ氏に講話していただきました。

講話の中では、大澤氏の実際のボランティア活動中の写真やお話を聞いたり、私たちができる災害に備えた取り組みなど実体験を交えた貴重なお話しばかりでした。

講話後、それぞれの担当場所に分かれて班ごとに打ち合わせをしたのち、ボランティア役、センタースタッフ役などに分かれて、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を実施しました。

センタースタッフの役割

受付班 ボランティア活動希望者の受付、ボランティア活動保険に加入していない方の加入手続きなどを行います。

マッチング班 被災者からの様々な支援をしてほしい！の声とボランティア活動したい方を結びつける役割を担います。

送り出し班 ボランティアに対して、移動手段・活動場所への案内を行います。

資材班 ボランティア活動に必要な資材の調達、ボランティアへ資材等の貸し出し、在庫管理を行います。

総務班(訓練では割り振りなし) センター全体の取りまとめを行います。

いつ起こるか分からない災害に対して備えるには、普段から訓練しておくことが重要になってきます。訓練だからではなく、実際の災害を意識しながら、訓練することが大切です。

